

なされるのが最も望ましい。しかし sub-program によっては、なにもすべての国が実施に参加しなくてもよい場合もある。こうした program は JOC の supervision の下で formulate され、国家レベル、あるいはある国（あるいはいくつかの国の間だけの協力）の責任の下に実施されることもあるということ、初めから JOC として考慮されていた。上記タイプ3と4の研究はこうした種類に属するであろう。

以上のようなわけで、従来は First Tropical Experiment として考えてきたのが、今回は Tropical Experiments と変わってきたわけである。

JOC としての勧告は以上の通りであって、さて実際にどう実施するかは政府間レベルの Planning Conference で討議されるという段どりである。

4. その他の sub-programme

大気放射については、1969年8月ロンドンで数値実験作業部会が開かれた際に数名の大気放射専門家が加わった。その討議の報告書が提出されたが、これは、大気大循環の数値実験で大気放射をどの程度モデルに組み入れる必要があるか、Global Experiment の期間中の放射の測定、GARP 実験の前に完了すべき放射の理論的および実験的研究などについてのべられている。この報告書は GARP にとっても重要な資料だということ、GARP から近々印刷されることになった。

大気と海洋の相互作用については、予定していた consultant からの報告書が未着であったが、次の数値実験作業部会の会合のとき、その分野の専門家を招いてはどうかということになった。

他団体で行なう褒賞および奨励金候補者推薦について

常任理事会

借成学術奨励金および毎日学術奨励金の申請について

下記つの学術奨励金について、本年6月30日締切りで、本学会宛に推薦依頼が来ています。申請希望の会員があれば学会として推薦する方針なので、至急担当常任理事北川信一郎（浦和山下大久保 255埼玉大学工学部郵便番号、338、電話 0488-32-2111）宛に御連絡下さい。

各種団体で行う授賞および奨励金の候補者推薦について

上記の他に毎年定期的に本学会宛に推薦依頼状が来るものに下のものがあります。本学会としては出来るだけ多くの会員の意見を反映し、推薦を行うことを意図していますので、申請を希望する会員あるいは、他会員を推薦しようとする会員は、本学会事務局にあらかじめ申出て下さい。

名 称	授与を行なう団体	奨励金を受ける対象と内容	締切期日
借成学術奨励金	(財)借成会	人文および自然科学の各部門若千名(総額300万円 1件30~50万円)	45年6月30日
毎日学術奨励金	毎日新聞社	人文および自然科学の各部門、個人又は共同研究グループ(総額600万円 1件50~100万円)	45年6月30日

名 称	授与を行なう団体	褒賞又は奨励金を受ける対象と内容	予定締切期日
地方発明表彰	(社)発明協会	地方における発明、考案、または意匠を通じ、あるいはその指導、奨励、育成の功績	未 定
朝 日 賞	朝日新聞社	学術、科学技術、芸術、体育の指導その他文化の向上に貢献著しいもの	45年10月10日
科学新聞社賞	科学新聞社	我が国の科学の振興に寄与した団体(1年総額10万円で授賞団体には、毎年同額の賞金を授与する)	45年10月31日
朝日学術奨励金	朝日新聞社	自然科学および人文科学の研究に従事する個人、グループまたは団体(昭和44年度7研究942万円)	46年2月28日
藤 原 賞	(財)藤原科学財団	理学、工学、農学、医学の研究者個人(原則として1名)(賞状、賞牌および副賞 500万円)	46年2月28日
山路自然科学奨学賞	(財)山路ふみ子自然科学振興財団	理学、工学、農学、医学の分野において、学術上の研究業績が特に優秀で、年齢50歳未満のもの(賞牌および副賞 100万円)	46年3月25日
松 永 賞	(財)松永記念科学振興財団	大正14年12月1日以後に生れ、日本の大学に奉職し、人文および自然科学の部門で優秀な研究に従事するもの(賞状および副賞 100万円)	46年6月30日